

茨城県立歴史館の郷土学習支援事業（出前講座）テーマ一覧〈令和3年度版〉

当館では講師派遣事業（出前講座）を実施しています。講座のテーマおよび具体的な内容は下表のとおりです。

	タイトル・テーマ名	具体的な内容
1	勾玉づくり体験	縄文時代から作られていた勾玉についての解説と、ろう石を使った勾玉作りを体験します。 ※材料費（1個320円）がかかります。
2	古墳の話	古墳に焦点をあて、茨城の古代について解説します。
3	『鹿島問答』を読む	浄土宗中興の祖・聖岡の主著を通して、中世浄土思想を考えます。（漢文の素読のできる方）
4	戦国大名佐竹氏の成立 —「佐竹の乱」「部垂の乱」を中心に—	佐竹氏が、戦国大名として発展する画期となった2つの内乱を詳しく解説します。
5	奥女中のみた 幕末の水戸藩	水戸藩第九代藩主斉昭の正室吉子に奥女中として仕えた西宮秀が晩年に書いた回想録『落葉の日記』。そこに書かれた奥向きからみた幕末の水戸藩を紹介します。
6	水戸藩における 尊王攘夷運動の成立	幕末期の水戸藩における尊王攘夷運動の意義について、その形成過程をとおして考えます。その中で、御三家の一つに位置づけられ、運動の理論的支柱となる尊王攘夷思想を育んだ同藩の特質を浮かび上がらせます。
7	徳川慶喜	水戸藩主徳川斉昭の子として生まれ、江戸幕府の15代将軍となった徳川慶喜。本講座では、その生涯にわたり政治行動を大きく規定することになった血脈や、朝廷や幕府、そして水戸藩との関わりをもとに、「最後の将軍」の実像に迫ります。
8	一橋徳川家の近代 —宗敬・幹子夫妻—	一橋徳川家12世当主宗敬と幹子について、史料を読みながらご紹介します。
9	黒澤止幾 —幕末・明治を生きる—	幕末勤王の女傑として知られ、寺子屋師匠や維新後の小学校教師として文化・教育の発展に貢献した止幾の生涯を、日記や和歌などの資料をもとに紹介します。
10	古地図の読み方 —入門編—	古地図が描かれた背景を探るべく、その見方や活用方法を紹介します。
11	佐藤進「渡洋之記」を読む	日本最初のドクトル佐藤進のドイツ留学時の渡航日記「渡洋之記」を読みときます。
12	日本刀のイロハ	当館収蔵の刀剣類をもとに、日本刀の楽しみ方を初心者にも分かりやすく解説します。
13	民俗学者・藤田稔のみた茨城	写真資料を〈読む〉ことを試みながら、茨城を代表する民俗学者・藤田稔のまなざしと足跡を紹介します。
14	東日本大震災から10年—幕末の「絵巻」から震災を考える—	今年で、東日本大震災から10年になりました。安政二年（1855）の大地震の際に流行した「なまず絵」を読み解き、震災について再び考えます。

15	茨城のみち ー交通網の移り変わりー	茨城県の道路や鉄道を中心とした交通網の変遷について紹介します。
16	聖徳太子の造形	2021年は聖徳太子1400年忌に当たります。その造形所産に恵まれた茨城の遺品とともに、太子信仰についてみていきます。(10月・11月をのぞく)
17	茨城の仏教美術	県内の社寺に伝わった仏像や仏画を取りあげ、分かりやすく解説します。(10月・11月をのぞく)
18	粋な紋切りあそび ー日本の心が見える紋 紋の文化と粋についてー	紙を折って型どおりに切り抜くときれいな紋が出来上がる、江戸時代からの粋なあそび「紋切りあそび」。実際に体験しながら、粋の文化を学びましょう。

【活用する方法について】

①お申し込み

上表のテーマ一覧から希望の講座を選んでいただき、教育普及課までご連絡ください。その後、実施に向けての詳しい打ち合わせを行います。

※実施日の1か月前までにお申し込みください。

②経費 交通費(旅費)の負担をお願いします。(講師謝礼等は必要ありません)。

※ 出前講座は、原則公民館等の公的団体のみの受付となります。どうぞご了承ください。

※ 講座担当者の展示作業、調査などのため、お日にちの調整ができない場合があります。ご了承ください。

問い合わせ先

茨城県立歴史館 管理部教育普及課「出前講座担当」
〒310-0034 水戸市緑町2-1-15
電話 029-225-4425 FAX 029-228-4277
E-mail: daihyou@rekishikan.museum.ibk.ed.jp